



山崎中学校だより

【 二学期終業、冬休みに入ります。 】

校長 肝付 俊朗

12月25日(火)は、2学期の終業式です。約4ヶ月、授業日数80日(2年生は81日)が終わり、1月7日までの冬休みに入ります。暑い8月から本格的な冬を迎えた12月まで長い2学期でしたが、生徒たちはよく頑張りました。三年生は、充実した修学旅行を経て、本格的な進路選択に向けた取組が始まりました。学校生活も受験を意識せざるを得ないものになりましたが、合唱祭では見事な歌声を披露し、そして、明るい元気を失わない毎日を過ごすことができました。二年生は、合唱祭で昨年に比べ大きく成長した姿を見せるとともに、11月の職場体験を経験し、一人一人が地域や社会の関わりの中で生きていることや保護者のありがたさを実感しました。一年生は、移動教室によって、自然や社会について体感し、仲間の理解や感謝することを知るとともに、合唱祭を通して、先輩たちのすごさに触れ、行事への意欲や協力の大切さを学びました。8組の生徒は、連合宿泊やマラソン大会、お楽しみ会などの行事をはじめ、日々の体験を中心とした学習を通して、一人一人確実に成長しています。

三年生については、11月から校長室で、面接練習が始まりました。それぞれから、3年間の学校生活に対する充実ぶりや自信、今後の進路に向けた意欲がよく伝わってきます。印象に残る行事について問うと、やはり、体育祭や合唱祭が多いです。また、二学期の10月に実施したので、印象が強いのか、修学旅行を挙げる人もいます。面接ではその行事や出来事の感想を聞くだけでなく、「あなたがどのように関わったのか?」「具体的にどんなことをしたのか?」「苦労したことや解決に向けて取り組んだこと」などを聞いています。緊張の中でもしっかりと自分の良さをアピールすることが大切です。ぜひ、全員が希望する進路を勝ち取ることを祈っています。

8組連合宿泊



12月13日(木)、オリンピック・パラリンピック教育と人権尊重教育の一環として、「特定非営利活動法人パラキャン」から4名の講師をお招きして、車いすバスケットボールの体験学習を行いました。学年毎に実施しましたが、パラリンピックの理念はもちろん障がい者や共生社会(みんなで共に生きること)について学ぶことができました。どの学年も、明るい元気さとともに、真剣な取り組み姿勢や真摯な態度が素晴らしかったです。

いよいよ2018年(平成30年)も残すところ約1週間となりました。平成最後の年末年始になります。30年前の1989年1月8日から平成元年となりました。元号の「平成」は、中国の歴史書にある「内平外成(内平らかに外成る)」「地平天成(地平らかに天成る)」という言葉が由来で、当時の内閣官房長官が紹介していたことを思い出します。

保護者の皆様には、今年一年大変お世話になりました。行事の際のお手伝いや様々な教育活動へのご理解やご支援、心より感謝申し上げます。また、地域の皆さまには、温かい見守りや活躍の機会の提供等いただき生徒及び学校の励みとなりました。重ねて御礼申し上げます。皆様方そして山崎中学校の生徒にとって、来る2019年が良い年となることを祈念しております。良い年をお迎えください



これまで学校としては、保護者の皆様の御協力を得て、楽しい学校生活づくりに取り組んできています。一人一人にとって安全で心豊かな学校生活を目指し、「暴力はいけない」ということを、日頃より指導しています。その一環として、先日、各学級で、楽しく学校生活を送ることができるようにするため、生徒にアンケート調査を行いました。今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力いただきますようお願いいたします

1月行事予定表は、山崎中HPページに掲載中です

12/29~12/31の年末年始は、学校に職員が不在になります。生徒の生命に関わるような緊急事態が生じた場合は、町田市役所代表電話042-722-3111へご連絡ください。

